

千葉の無形民俗文化財 No.5

けんみんれん（千葉県無形民俗文化財連絡協議会）会報
2010.1.20.

「房総の郷土芸能2009」

12月5日（土）に香取市佐原文化会館を会場に開催された「房総の郷土芸能」。大勢の来場者を迎え、各出演団体の熱のこもった芸能の披露に、惜しめない拍手が送られました。

平成22年度は、12月11日（土）に東金文化会館で開催の予定です。

出演：おらんだ楽隊（香取市） 伊能歌舞伎（成田市） 西大須賀の神楽（成田市） 文違麦つき踊り（八街市）
木内神楽（香取市） 佐原囃子（神崎町） 笹川の神楽（東庄町）



今年もチーバくんが応援に



独特なスタイルで会場を盛り上げるおらんだ楽隊



格調高く締めくくった笹川の神楽

洲崎のミノコオドリ 「洲ノ崎踊り」は平成21年3月17日付けで「洲崎のミノコオドリ」と名称が変わりました。女の子たちが輪になって踊る館山市洲崎のミノコオドリは昭和36年に「洲ノ崎踊り」の名称で県指定となりましたが、南房総市千倉町川口と館山市波左間のミノコオドリが平成19年3月に「南房総地方のミノコオドリ」として国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、また洲崎の踊りも地元では「ミノコオドリ」と呼び習わされており「洲ノ崎踊り」の名称が指定後50年経っても馴染みのあるものになっていないことなどを検討した結果、このたび名称を変更することになったものです。

平成21年度千葉県教育功労者表彰 木更津ばやし保存会（木更津市）が受賞し、11月2日（月）にポートプラザちば（千葉市）で開催された表彰式には会長の平井秀幸さんが出席されました。

伝承団体の紹介⑤

篠籠田の獅子舞

ガンバッテます！

篠籠田三匹獅子舞保存会（柏市）

JR柏駅からほど近い篠籠田地区は住宅が密集し、一見、民俗芸能に縁のなさそうな地域です。しかしここでは毎年8月16日の西光院の施餓鬼の日に、祖先の霊をなぐさめ、五穀豊穡と家内安全を祈願する獅子舞が奉納されています。猿や狐、ひよっとこの面をつけた道化師たちの「猿舞」にはじまり、女獅子・中獅子・大獅子のそれぞれの舞、そして3匹いっしょの「精進返し」が、境内に注連縄を張って作られた舞台で舞われます。2年前に訪れる機会があり、若い舞手や、子どもや女性も含めた大勢の笛方に、都市化が進む地域でこんなにも大切に伝承されている獅子舞があるのかと感銘を受けたものです。ただ、かつては「笛がかり」「橋がかり」「うずめ」の舞を年によって「精進返し」に替えて奉納し、また「雨祈り」という雨乞いの舞を、神社で舞ったり近隣の地域に頼まれて舞いに行くこともありましたが、これらの舞は途絶えて30年以上経つとのことでした。ところが、このたび復活プロジェクトが立ち上がり、12月13日には西光院でのお披露目に至ったのです!! 拝見させていただきました。勇壮ななかにも品格のある見事な舞でした。10・11月の週末に地域の先輩から教えを受けたとのことです。関係者のお名前を記させていただきます、心から拍手を送ります。（指導者）谷川輝夫（習い手）小田山博史 谷川善昭 長妻英樹 増田秀仁（笛）伊藤正徳 伊藤佑介 伊藤誉将（敬称略）



笹を手に「雨祈り」

総会開催される

隔年で開催されている総会ですが、今回は7月8日（水）に県立美術館講堂を会場に開催されました。規約改正や平成21・22年度事業予定等の議案はすべて承認され、また新役員が決まりました。新役員の皆様、2年間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



会長 深田隆明さん（横芝光町 鬼来迎保存会）

私は、横芝光町の虫生の地で鬼来迎保存会の会長を務めております深田です。この度会長をお引き受けすることになりました。私の所属する鬼来迎を伝承する虫生の里について少しお話をさせていただきます。虫生は戸数僅か26戸の小さな集落ですが、その小さな集落で鬼来迎は800年の間絶えることなく演じられて来ました。近年新たに3名の若者が保存会に加わりました。私は彼らを迎える際、先輩たちがどのような想いでこの劇を演じ守り伝えてきたのか、今3名が引き継ごうとしている文化遺産の重みを詳らかに説明し、継承してくれるようお願いをしました。3名は稽古に励み、公開日には立派に劇を披露しました。幸いにも、鬼来迎は後継者を迎えることができましたが、最近の社会の大きな変容は、伝統芸能の伝承にも影響を及ぼし、厳しい状況を迎えている所も有ると聞きます。この厳しい状況を乗り越え貴重な民俗文化財をしっかりと伝承していけますよう、微力では有りますが努めてまいりますので、お力添えをお願いいたします。

副会長 植草 博さん（千葉市 稲毛浅間神社神楽連）

この度、再度副会長の任をお受けすることになりました。宜しくお願ひ致します。私が所属する稲毛浅間神社神楽連は昭和37年に県無形民俗文化財に指定を頂き現在15名にて約500年前より伝えられている12座神楽を伝承しております。年々後継者不足にて伝承者が足りない状況ではありますが次世代に確実に伝えるべく尽力しています。県民連会員の中にも後継者不足で頭を抱えている団体も多いかと推察いたしますが貴重な文化財を次世代に残して頂きたく思います。



副会長 岸本雅邦さん（東金市 東金ばやし保存会い若会）

東金ばやしは昭和38年に千葉県指定無形民俗文化財となりました。主に演奏される四丁目、通りばやしは長唄ばやしを真似たもので、明治15年東金で客死した五代目吉村伊三郎が滞在中自らかつて出て従来の曲目を長唄風に編曲したものと伝えられております。特に四丁目は儀礼的な曲であり、神社の前を通るとき、山車、屋台が向かい合ったとき等に演奏されます。東金では昔から9つの部落で日吉神社と雄蛇ヶ池を信仰し、隔年で盛大に祭礼を挙行いたします。夕闇せまる頃9台の山車が提灯に灯りをともし、たんぼ道をゆらゆら風にゆられながら東金ばやしを奏でて街中へ帰ってくる様は市民の楽しみであり誇りでもあります。



理事 堀江仲安さん（南房総市 忽三番叟保存会）

私と三番叟との関わりですが、父が笛方をしていたためか、中学二年生のある日の学校の帰途、同級生のSから「三番叟やんネエか」と誘われ、仲間入りしたのが運のつき？私の方が背が高かったので三番叟役、彼は翁を、今一人の千歳役も同級生でした。終学後、翁、千歳役とも地元を離れ、私だけが家に残った為、以後、シテ方から笛方、師匠と離れることができず、ここ十数年来、笛方と師匠の一人二役です。芸ものは教えるものと演舞を望む者がなければビデオでは役立たずで明日にも無くなってしまいます。ようやく今年笛方と師匠の希望者が現れたので安堵しているところです。他地域の伝統芸能を色々見聞し、研鑽を重ね、後世に伝承出来るよう頑張りたいと考えています。



監事 本橋義正さん（本埜村 大和神楽保存会）

私は、大和神楽保存会の会計を務めています。現在、会の運営は会員の会費と村からの補助金を頼りに何とか賄っていますが、宝暦元年（1751年）作と伝えられる面や衣装の修繕などの経費を捻出することに苦心しています。いずれの団体でも、運営経費の捻出や後継者の確保・育成などが大きな課題となっていると思われませんが、当会が、今後の民俗芸能の継承にとって情報提供や団体間の交流の場となるように更に発展していければと考えています。ご協力をよろしくお願ひします。



千葉県無形民俗文化財連絡協議会事務局（千葉県教育庁教育振興部文化財課内）

〒260-8662 千葉県千葉市中央区市場町1-1 TEL：043-223-4082

けんみんれん会報「千葉の無形民俗文化財」No.5 発行：2010年1月20日

協賛／浅草中屋 東太鼓工房（株岡田屋布施 北原篠笛製作所（有）椎名匠店 シマ・ワークス
千葉県立房総のむら（指定管理者：（財）千葉県教育振興財団）チバテレビ
（株）プロダクション135 ホテルポートプラザちば 松本太鼓店（株）宮本卯之助商店 蘭情
（50音順・房総の郷土芸能2009と会報発行にご協賛いただきました。ありがとうございました。）

